



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 28-01

7月号

発行 2025年7月23日

Chartered 1998

川越クラブ会長: 利根川 太郎 主題「ワイズメンの原点に立ち返ろう。」

～楽しく交流・川越YMCAの支援・国際交流の充実～

副会長 松川 厚子

国際会長: Edward Ong エドワード・オン (シンガポール)

会計 吉田 公代

主題 “Faith, Love, Action” 『信念、愛、行動』

スローガン “Together Stronger” 『共に、より強く』

書記 吉野 勝三郎

アジア太平洋地域会長: 田上 正(熊本むさしクラブ)

主題 “Act now with faith and love!” 『信念と愛を持って行動しよう!』

スローガン “Contribute to local society together with YMCA and Youth!”

『YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう!』

東日本区理事: 山下 真 (十勝クラブ)

主題 『ワイズのらしさ再発見』 “Rediscovering Y's Uniqueness”

スローガン Change!

7月の聖句

ルカによる福音書11:2-4

イエスは言われた、「祈る時には、こう言いなさい。」

「父よ、御名が崇められますように。

御国がきますように。

私たちに必要な糧を毎日与えてください。

私たちの罪を赦して下さい。

私たちも自分に負い目のある人を皆赦しますから、

私たちを誘惑に遭わせないでください。」

So He said to them, “When you pray, say,
Hallowed be Your name,
Your kingdom come,
Give us day by day our daily bread,
And forgive us our sins,
For we also forgive everyone who is indebted to us,
And do not lead us into temptation,
But deliver us from the evil one.”

(Luke 11:2-4)

6月統計(6月xx日)

出席者 10名 出席率 100%

2025-2026 川越クラブ会長 就任挨拶

会長 利根川太郎

2025-2026年度が始まりました。昨年度に引き続き、利根川太郎が川越クラブ会長を仰せつかりました。昨年度は、25周年の記念例会を持つことができました。

また、東日本区大会ではブリテン最優秀賞を頂き、さらにハイデラバードクラブとのIBC締結も果たすことができました。これもひとえにクラブメンバーの皆様のお支えがあつてのことと感謝しています。

昨年度は、原点に戻って川越YMCAを支援することに取り組んで参りました。クラブメンバーが得意なことを生かしてYMCAのプログラムに協力することも試みてきました。

今年度はこの試みを継続しつつ、クラブ例会をメンバーの相互の親睦の機会としてメンバー同士で楽しむことに目を向けていきたいと考えています。2024-2025年度の最終例会では、メンバーの皆さんから様々な案も頂きましたので、実現できるものから実行して行きたいと思えます。頼りない会長ですがクラブメンバーが強力なので、皆様に助けをいただきながら務めてまいりたいと思えます。もう1年よろしく願い申し上げます。

川越クラブ 6月例会報告

会長 利根川太郎

6月末には梅雨が明けたのではないかとと思われる日差しが降り注ぎ、例年より早い梅雨明けと猛暑が予想されています。既に西日本の梅雨明けが宣言されて、関東甲信越も7月7日には梅雨明け宣言が出る予報です。

早くも夏バテの気分ですが、熱中症には気を付けながらこれからの長い夏を乗り切れるように、気持ちを切り替えていきたいと思っています。皆様も、体調には十分留意しながら、暑い季節を楽しんでください。

6月28日の例会の報告をいたします。

1. 何点か報告がありました。

・5月に卓話いただきましたボビー・オグワンさんが、北本市にある私立ふじ幼稚園を訪問された様子が新井さんから報告されました。ウガンダで幼児からの学校を立ち上げたボビーさんは、この訪問を心から喜んでいただけたことでした。

・IBCクラブのセラムクラブに倣って始めた古書再読の活動に、一区切りを付けて寄贈いただいた古本を整理しました。

2. 2025-2026年度について

・クラブ会計の決算予想と予算案について承認されました。

・川越クラブ活動計画の内容と関東東部評議会に提出することが承認されました。

3. 川越ワイズメンズクラブ会則についての改定案が、修正の上承認されました。

・例会の通常開催日時などを現状に合わせた改正です。会費は年度ごとに会員の承認を

得る形にしました。2025-2026年度は昨年度に引き続き4万円とします。

4. クローバークラスの夏休みプログラムの中で、8月11日(月・祝)の首都圏外郭放水路見学ツアーの資金補助5万円が認められました。ただし、今後の資金援助については、クラブとして年間の支援をどのようにするかを改めて検討することとしました。

5. 2025-2026年度の活動計画案について以下の案が検討されました。

・卓話 滑川光裕氏(嘉悦大学) 滑川氏のご母堂(幼児の英語教育の先駆者)

- ・お茶会(アフタヌーンティー)やお茶会付きの卓話
- ・カラオケ大会
- ・明治製菓工場見学や三富今昔村訪問など
- ・お散歩例会

6. 次回のYの森コーヒー販売は9月27日(土)のYMCAフェスティバルを予定します。

7. 今後の予定について

・7月26日(土) 決算・会計報告。ファンド会計報告

・8月23日(土) 未定

・9月27日(土) お芋の試食会

以上、主な内容を報告いたします。

(原稿をもらってから日にちが経ってしまいました。編集子)



(中途退席された方はこの写真から漏れています。)

国際の舞台から

利根川恵子

来る8月1日から3日まで、熊本で開催される第31回アジア太平洋地域大会(@熊本城ホール)がいよいよ間近になりました。事務局からの情報では、現在登録者数が543名で、そのうち海外からの参加者は10数カ国から134名となっています。地域大会に合わせて、国際議会が熊本YMCAを会場に開催されるため、国際議会の各地域代表もわれわれの大会に合流することになり、国際組織としての存在を実感することができます。川越からは(敬称略)利根川太郎・恵子、山本剛史郎、新井壽代・賢二、吉野勝三郎の6名が参加する予定です。

さらに、7月30日から8月4日まで、阿蘇YMCAを会場として開催されるアジア太平洋地域ユースコンボケーションも、日本のユースが実行委員会の中心になり、順調に準備が進められています。アジア太平洋地域のユースが一同に会し、「平和」をテーマに5日間、ディスカッションを重ねたり、異文化交流を体験したり、ワイズとの交流でワイズ運動への理解を深めたり、と大きな成果が期待できる内容となっています。残念ながら、今回は川越クラブからユースを推薦することができませんでしたが、近隣のクラブから参加する学生もいますので、例会で報告をしていただく機会があることを期待いたします。

いずれにしても、8月または9月の例会で成果をご報告いたしたいと思います。どうぞご期待ください。



(昨年、チェンマイの国際大会に於いての地域大会アピール風景)

リレー随想

剣道

山本 剛史郎

私は小学校に上がる前から剣道を習っていました。そもそも名前の「剛史郎」というのは「剛」は「武」、「史」は「文」を表し、文武両道に生きていくようにと付けられた名前です。親は何かしら武道を習わせたかったようである。そのような訳で、小学校に上がる前から、当時、住んでいた埼玉県日高市にある妙武館高麗道場という道場で習っていた。その当時はそんなことは全く意識していなかったのだが、この妙武館という道場は埼玉県でも屈指の強い道場で、練習もとても厳しいものでした。私も厳しい練習が嫌で嫌で仕方がなかったのですが、やめることもできず、中学卒業までは通っていました。そのような道場に通っていたこともあり、小学生の時には団体戦ですが埼玉県大会

で優勝し、日本武道館で行われた全国大会にも出場したことがあります。しかし、高校生になった時に、通学時間も長かったこともあり、剣道をやめてしまい、それから十数年、剣道はやっていませんでした。

しかし、30歳を過ぎた時、運動不足もあり、また剣道に興味があったので剣道部の顧問となり中学生や高校生と一緒に剣道を始めました。そこから数年は近所の道場で剣道をやっていたりして剣道四段までは取得したのですが、子どもが生まれるとまた忙しくてやめてしまいました。

それから10年以上が過ぎたのですが、希歩(のあ:長女)が中学校に入ると部活動として剣道部を選択し、またちょくちょく見に行ったりして、一緒に中学剣道部の稽古に参加するようになりました。ま(あ)た、希歩(のあ)をはじめ同学年(現、中学2年生)3人の女子は中学校から始め、今年、新しく入ってきた1年生女子も全くの初心者なので、女子の方はとても弱いですが、男子の方は小学校からやっているものが多くおり、そこそこ強い部活になっています。先日も中学生と一緒に剣道をやりましたが、毎日、稽古している中学生には基本稽古のスピードや正確さでは負けてしまうこともあります。とはいえ、長年、剣道をやって実践ではまだまだ負けないかなというレベルです。まあ、希歩(のあ)も弱いながらも楽しく部活動をやっているみたいで、休まずに剣道の稽古を続けています。

剣道というのは不思議なスポーツで、ルールがとても分かりにくい競技です。基本的には「面」(頭)、「小手」(手首)、「胴」(左右のウエスト部分)、高校生以上だと「突」(喉元)が有効打突部で、そこを竹刀で叩けばよいのだが、その際、①打突部位、②気勢(きせい)、③姿勢、④竹刀の打突部、⑤刃筋正しくなどの条件がつけられる。これがとても分かりにくいです。柔道は国際的スポーツになるため、「一本」以外に「技あり」というものを設け、「技あり」2本で「一本」になる。また反則(指導)を3回行くと負けになるといった分かりやすい形にしました。しかし、剣道において一本以外は基本的に無効で、その一本なのか無効なのかを見極めるのは審判の主観によるものが大きく、さらに審判は絶対であり、その決定を覆すことができないのも特徴です。いろいろと理由はあるが、剣道は柔道に比べて国際的スポーツになりにくい、いわゆる日本という国の武道としてとどまっていると思います。興味があったら、ぜひ、一度、剣道の稽古、試合といったものを見てみてください。



(山村学園高校にて剣道の練習)



(大会後の希歩(のあ:長女)と)

YMCA 報告

河合 今日子

【水のフォルム】

今年に入り、埼玉ワイズの浅羽さんからご紹介があり、さいたま市見沼区の田んぼで土地の自然や住環境保全に努める「水のフォルム」という団体のボランティア活動に1~2ヶ月に1度参加しています。先月は初めての田植えにチャレンジしました。想像以上に体力を使う作業で大変でしたが、自然の尊さと農家さんのご苦勞を知ることができる良い機会となりました。



【こどもの会】

今年度から月に2回ほど所沢センターでこどもの会(ボッチャ&プールあそび)を開催しています。ボッチャでは、台湾YMCAで活動していたりんりんリーダーが、プール遊びでは、所沢ワイズの大澤さん(おおリーダー)がアシスタントとして入ってくださり、子ども達は安全に活動できています。また、今月から大澤さんのお友達のさっちゃんリーダーも入ってくださることで、子ども達は泳ぎたいグループ、遊びたいグループを自分で選んで活動できるようになりました。このように多くの皆さんにご協力いただきながら、子ども達が安心して楽しく活動できる場が増えていることに感謝しています。



毎年7月に入り梅雨明け頃になると、子ども達の表情が明るくなります。理由は、目の前に訪れる夏休みです。川越センターでは、そんな夏休みに子ども達が様々なチャレンジができるよう、日替わりでプログラムを企画しています。プログラムの内容によって終日外出していることもありますので、ご来館の際には事前にご確認ください。

最後になりますが、くれぐれも皆さま体調管理にはお気をつけいただき、元気にお過ごしください。

【8月14日(木)～18日(月) 川越センター休館】

編集後記

熱波の日々ですが、川越クラブの皆さん、いかがお過ごしでしょうか。今年の夏の予定は決まっていますか。

私は、7月6日から11日まで、インドからの来日者にアテンドして、大阪・名古屋・沼津・幕張と駆け足で回りました。体力のなさを実感した一週間でしたが、やっと体力を回復したところです。そんなことから、今回の「希望の鐘」も発行が遅れてしまったことをお詫びいたします。

7月19日(土)は関東東部評議会が東陽町の東京YMCAで開催され、私も出席しました。利根川太郎会長から、今年度の川越クラブの主題

「ワイズメンの原点に立ち返ろう。」

～楽しく交流・川越YMCAの支援・国際交流の充実～

が発表されました。これからの一年間、利根川太郎会長のリーダーシップの下、充実したクラブ活動を推進しましょう。評議会は内容の充実した会合でした。その内容は、26日(土)の川越クラブの例会で報告された後、次号のプリテンに掲載する予定です。(KY)